

新レーベル SPIRAL RECORDS 第1弾アルバムリリース

中島ノブユキ 『メランコリア』

発売日：2010年10月6日（水）

2010/10/6 Release



XQAW-1101 ¥3,000 (tax in)

“忘れかけた面影”を辿る、遊歩の往還。

映画《人間失格》O.S.Tを経て、中島ノブユキが
新たに描き出した音楽～時間～世界への旅の道標。
渾身のニューアルバム『メランコリア』、遂に誕生。

掲載や取材に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

スパイラル/株式会社ワコールアートセンター 広報部 担当 加藤美穂、四元朝子(よつもとともこ)、清水さえみ

TEL 03-3498-5605 FAX 03-3498-7848

〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23

E-mail press@spiral.co.jp WEB www.spiral.co.jp

spiral records **SPiRAL!**

スパイラルは2010年10月に25周年を迎えます。

今年でオープン 10 周年を迎えるスパイラルレコードスは、2010 年 10 月 6 日(水)、ピアニスト／作編曲家 中島ノブユキのニューアルバム『メランコリア』をリリースします。

**深い音楽的造詣に根ざした多彩な音楽活動。
ますます活躍の場を広げる**

今、注目のアーティスト 中島ノブユキ

中島ノブユキは、東京とパリで作曲法、管弦楽法を学び、95 年から音楽家としての活動をスタートしました。10 代よりニューウェーブ、ジャズ、ボサノヴァ、テクノ、ハウスなど様々な音楽の影響を旺盛に吸収し、その豊かな音楽的造詣を背景にピアニストとしてはもちろん、作編曲家としても高い評価を受けています。

自身では『エテパルマ〜夏の印象』、『パッサカイユ/PASSACAILLE』の 2 枚のソロアルバムを発表しているほか、菊地成孔や UA、畠山美由紀、原田知世、高木正勝など多くのアーティストの作品に参加、エレガントかつスリリングなアレンジで音楽界でも高い評価を受けてきました。

また、2010 年には映画《人間失格》に楽曲を提供し、映画音楽界に新風を吹き込む存在としても大きな期待を集めるなど、今、その動向が注目されるアーティストです。

**豪華なゲスト・アーティストと描き出す
情感溢れる美しい世界**

中島ノブユキの 3 年ぶり 3 作目となる『メランコリア』では、書き下ろしのオリジナル楽曲に加え、クラシックやボサノヴァ、アイリッシュ・トラッド、オールド・スタイルなジャズなど独自の視点で名曲の数々を取り上げ、情感溢れる美しい世界を描き出しています。



中島ノブユキ

演奏には、存在感あふれる歌声で各方面から称賛を受ける畠山美由紀、スティール・ギターをはじめとするマルチ弦楽器奏者として細野晴臣、高橋幸宏などのレコーディングやライブで活躍するギタリストの高田漣、暖かく繊細な音色で語りかけるブラジリアン・ギターの名手、伊藤ゴローをはじめ、中島ノブユキの音楽に共鳴する豪華なアーティストが参加。ピアノが奏でるなめらかな旋律にバンドネオンやチェロ、ギターの音色が響きあいます。その美しい響きは、誰もが心の底に抱く、埋もれかけた遠い記憶を呼び覚ますように、聴く者の心の奥深くまで浸みわたり、揺さぶります。さらに深みを増した中島ノブユキの音世界を存分にお楽しみいただける渾身の作品です。

この機会にぜひご取材・ご掲載をご検討くださいますようお願いいたします。

商品概要

中島ノブユキ 『メランコリア』

発売日:2010 年 10 月 6 日(水)

ジャンル:ジャズ/クラシック

価格:3,000 円(税込)

収録曲

- | | |
|--|--|
| 01. Overture (Nobuyuki Nakajima) | 09. 子守歌(Benjamin Godard) |
| 02. 忘れかけた面影(Nobuyuki Nakajima) | 10. In A Mist (Bix Beiderbecke) |
| 03. プレリユード 嬰へ短調 (Nobuyuki Nakajima) | 11. メランコリア (Mario Castelnuovo-Tedesco) |
| 04. プレリユード ホ短調 (Nobuyuki Nakajima) | 12. プレリユード ロ短調 (Nobuyuki Nakajima) |
| 05. カリニョーゾ (Joao de Barro / Pixinguinha) | 13. シーベック・シーモア (Turlough O'Carolan) |
| | 14. アダージェット 『交響曲第 5 番より』 (Gustav Mahler) |
| バンドネオン組曲 〜ジ・エッジ・オブ・タイム〜
(Nobuyuki Nakajima) | |
| 06. I トッカータ | Produced & Arranged by Nobuyuki Nakajima |
| 07. II アリア / Aria | |
| 08. III フーガ / Fuga | |

参加ミュージシャン

島山美由紀(Vocal)、伊藤ゴロー(Guitar)、高田漣(Guitar)、北村聡(Bandoneon)、
芳垣安洋(Drums)、徳澤青弦(Cello)etc.

中島ノブユキ プロフィール

作曲家・編曲家・ピアニスト。

東京とパリで作曲法 / 管弦楽法を学ぶ。ピアニストとしては勿論の事、時に作・編曲家として多種多様な音楽的造詣に根ざしたエレガントかつスリリングなアンサンブルを構築することに定評がある。

菊地成孔の諸作品に作/編曲、ゴンチチ、高木正勝、島山美由紀らの作品に編曲等で携わる。ソロアルバムとしては『エテパルマ〜夏の印象〜』(06)『パッサカイユ』(07)を発表。また2010年2月公開の映画「人間失格」の音楽を担当した。2010年8月にはTAPダンサー熊谷和徳氏と東京フィルハーモニー交響楽団が共演する「〜REVOLUCION〜」へ音楽監修/編曲/ピアニストとして参加するなど、ますます活躍の幅を広げている。

メランコリア / MELANCOLIA 中島ノブユキ セルフ・ライナーノーツ**01. Overture (Nobuyuki Nakajima)**

録音最終日。深夜の録音。最後に録音した曲が冒頭に置かれる。こじつけではないが“時の循環”ということが今作『メランコリア』の密かなテーマなのだ。

02. 忘れかけた面影 / Reminiscence (Nobuyuki Nakajima)

喪失感というものの持つ甘美さに心惹かれる。もともと仮のタイトルとして《路頭に迷う》と呼ばれていた曲。そのまま正式なタイトルにしても良かったのだけど、ある時バンドネオン奏者の北村さんから「アルゼンチンの裏路地を思い出すんですよね」と言われ、この曲には失われた何かを呼び起こすようなものがあるのかもしれない、このタイトルにした。“面影”という言葉のニュアンスに含まれているのは、人であり、土地でもあり、時でもあり……。

03. プレリュード 嬰へ短調 / Prelude F sharp minor (Nobuyuki Nakajima)

こうやって聴くと全くそれが表面には出ていないのだけど、3と2がリズム的に重なり合う伴奏の音型や半音で下降するバスの進行とそれに伴うハーモニーの移ろいなど、実はブラジルの音楽からの影響が色濃い曲。

* 尚、この作品に収められたプレリュードというタイトルの3曲(Tr. 3,4,12)は全て『24のプレリュードとフーガ 〜ピアノソロの為に〜』からの楽曲です。

04. プレリュード ホ短調 / Prelude E minor (Nobuyuki Nakajima)

作曲中は、その曲によって何かを表現しようとしたり何かを描写しようとしたりはしない。ただ音の重なり連なりに耳を澄ませているに過ぎない。しかし曲が出来上がってみると確かに何か風景のようなものが浮かび上がってきていたり、あるいはその時の気持ちが反映されていたりするものだ。この曲の重く暗い荒涼とした空気感の表出は作曲時には想像していなかった。そして楽器が重なり音楽が予期しない方向にシフトしてゆくとき、音楽はより芳醇なものとなる。

05. カリニョーゾ / Carinhoso (Joao de Barro / Pixinguinha)

愛情のこもったこの大らかな旋律。時折見え隠れする密やかなささやき。

バンドネオン組曲 〜ジ・エッジ・オブ・タイム〜 /**Suite for Bandoneon 〜The Edge of Time〜 (Nobuyuki Nakajima)****06. I トッカータ / Toccata****07. II アリア / Aria****08. III フーガ / Fuga**

いつかバンドネオンの為の曲を書きたいと思っていた。それは北村聡さんとの出会いによってそういう気持ちにさせられ

たのだ。バンドネオン + 4つのチェロ + コントラバス、という特殊な編成。終曲はフーガの形式で書かれているのだけどフーガを書くときはいつも”時”のことを考えてしまう。同じ旋律が繰り返されているようでも、いつも違った響きを纏っているのだ。水の波紋が決して同じ模様を作らないように。時の非可逆性。

09. 子守歌 / Lullaby (Benjamin Godard)

雪の夜のような音楽。静寂が満ちる。簡素な音型。限界ギリギリの小さな音で弾いた。

10. In A Mist (Bix Beiderbecke)

作者ビックス・バイダーベックは1931年に28才で夭折したコルネット奏者、ピアニスト。この曲を初めて聴いたのはもう20年以上前、ライ・クーダーの『ジャズ』というアルバムでなのだけど、ある時、譜面を手に入れてピアノで弾いてみて驚いた。ゆっくり弾くとまるでビュッシーのような和音やその進行なのだ。このアルバムの制作がスタートしたときのテーマ、フランス音楽とジャズ黎明期の関係性ということを象徴するのはこの曲だと考えていた。(次第にそのテーマを掘り下げることが目的ではなくなっていったけど。)

11. メランコリア / Melancolia (Mario Castelnuovo-Tedesco)

ある朝、何気なくかけたセゴビアのCDからこの旋律がきこえてきた。躊躇いながらゆるやかに下降するアルペジオ。その音型の中から立ちのぼる簡素で慈愛に満ちた旋律。作者のカステルヌオーヴォ＝テデスコはイタリアの作曲家で、1939年に母国を離れアメリカに渡った後、ハリウッドで映画音楽の仕事で大いなる足跡を残した。原曲はギターソロのために書かれている。

12. プレリュード 口短調 / Prelude B minor (Nobuyuki Nakajima)

もともとのピアノソロ・バージョンでは感じなかったのだけどバンドネオンという楽器が持つDNAがそんな響きを蘇らせてくれたのか、どこかドイツ的な響きもたらされた。

13. シーベック・シーモア / Si Bheag, Si Mhor (Turlough O'Carolan)

この旋律の句読点はとても希薄で、その事によりあたかも永続性と儚さが結びつけられているかのようだ。録音では何度も繰り返されるこの旋律をどこで誰が弾くのかを決めずに演奏した。つまり役割分担を放棄したのだ。その事がエモーショナルなうねりを生んでいると思う。元々はアイルランド民謡。

14. アダージェット / Adagietto (Gustav Mahler)

畠山美由紀さんといつかこの曲を出来たらと数年前から話していた。僕も大好きな曲だったのだけど元々オーケストラのための曲だし、線が絡みあう思いのほか複雑な曲なので、なかなか実現出来なかった。しかし今回のこの編成なら出来ると思い編曲に取りかかった。

Text: 中島ノブユキ

コメント

菊地成孔 (音楽家 / 文筆家 / 音楽講師)

時間の周回性、環状性、反復性といったものは、一様に総て美しく、悲しいです。サウダーチという心象もレグレットという心象も超えた、中島さんだけの。としかいいようのない品格のあるメランコリアだと思います。

坂本美雨 (ミュージシャン)

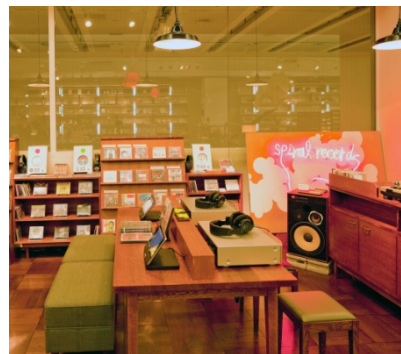
天国のように美しい。夕刻のほんの一瞬のまろやかな、世界の溶ける瞬間、雨の一番最初の一粒、どこにもとどめておけない世界中の消えゆく美しい瞬間へ手が届きそうになる。不謹慎かもしれないけど、お葬式の時に流してほしいとさえ思いました。

野崎良太(Jazztronik)

中島サンの新譜『メランコリア』を聴いた。最近、自分的に聴く前からドキドキする作品に出会える機会がなかなか減ってきてしまっていたのだけどこの作品は別だった。やはり今を生きる”作曲家”の作る音楽を聴くというのはドキドキする。加えて中島サンはなにより僕の同門の先輩でもある。『メランコリア』を聴いて色々な情景が浮かんだ。久しぶりに浮かんだ。きっと自分の中の色々なところが刺激されたんだと思う。また次聴くと違う情景が浮かぶのだろう。そんな色褪せない素敵な作品です。

◇スパイラルレコーズ◇

スパイラルレコーズは、今、新鮮な音楽をワールドワイドにセレクトした CD & DVD ショップとして 2000 年にオープンし、今年 10 周年を迎えます。独自の視点で質の高い音楽を提案するセレクトショップの草分けとして、多くの信頼を集めています。また、その編集能力を最大限に発揮し、オリジナルレーベル farlove(2000 年)、spiral records(2010 年)を立ち上げ国内外のアーティスト作品をリリースするなど、変化する時代の流れを吸収しながら、日々音楽情報を発信しています。



〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23 スパイラル 2F

Tel. 03-3498-1224 / Fax. 03-3498-7848

営業時間 11:00～20:00